

校長室だより (No. 5)

令和7年 12月24日 (水)

10月1日(水)から始まった後期でしたが、今日まで、子どもたちは、各教科や生活科、総合的な学習の時間、ものづくり科、各学年の行事などにも一生懸命に取り組み、心身ともに大きく成長することができたようです。

～ 一人で！～



学習課題を独りでじいっと考え込む姿。しばらくすると、「あっ！」という感じで何かに気がついたようで、一生懸命にノートに書き込む姿。友達と同じ考え方や答えだったことにホッとする姿…。

「わかった！」「できた！」という姿をたくさん見ることができました。

～みんなと…～

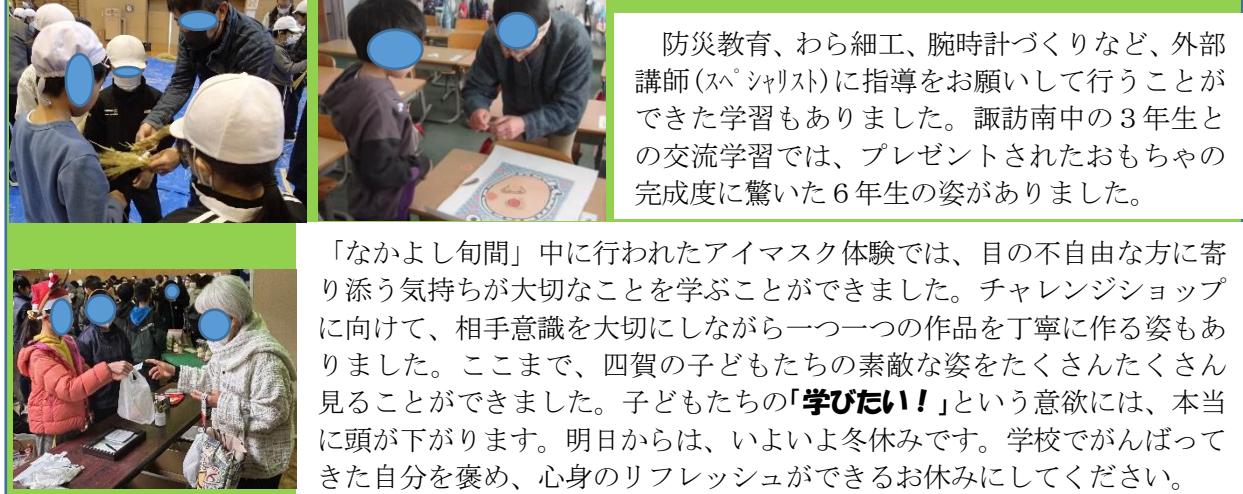


考えたことを友達と確かめ合う姿。先生から出された課題をグループの友達と、それこそ頭を寄せ合って考え込む姿。アイデアを出し合い、友達とともに一つの作品を創り上げていく姿。そして、また独りに戻って学び込む姿…。仲間がいることで、自分の学びをどんどん広げ深めていく姿もたくさん見ることができました。

～ 地域や保護者、その道のプロの皆さんに支えられて～



防災教育、わら細工、腕時計づくりなど、外部講師(スペシャリスト)に指導をお願いして行うことができた学習もありました。諏訪南中の3年生との交流学習では、プレゼントされたおもちゃの完成度に驚いた6年生の姿がありました。



「なかよし旬間」中に行われたアイマスク体験では、目の不自由な方に寄り添う気持ちが大切なことを学ぶことができました。チャレンジショップに向けて、相手意識を大切にしながら一つ一つの作品を丁寧に作る姿もありました。ここまで、四賀の子どもたちの素敵な姿をたくさん見ることができました。子どもたちの「学びたい！」という意欲には、本当に頭が下がります。明日からは、いよいよ冬休みです。学校でがんばってきた自分を褒め、心身のリフレッシュができるお休みにしてください。